

遊休農地の活用

熊本県立宇土高等学校

要旨

全国的に問題となっている遊休農地について調べたことをまとめる。市役所の職員の方への聞き込みやインターネットで調べたことを元に市役所へ遊休農地の使い方を提案する内容を考える。

1. 目的

宇土市の使われずに放置された農地(遊休農地)を有効活用する方法を考える。

2. 方法

インターネットで検索する
市役所の担当の職員の方に話を聞く
実際に使われてない農地を見に行く



3. 結果

市役所の担当の職員の方への聞き込みで分かったことは

(1) 宇土市の農地の面積

宇土市の総面積は7340haで農地の合計は1790haあり、8.2haが遊休農地で、宇土市の耕地率は24%で農地の合計の0.4%になっている。

農地転用には、届け出で3~5万、許可で6~8万円程度必要になる。

(2) 宇土市の活動

遊休農地に対してじゃがいも等を植え付けなどを行い、遊休農地解消をPRするといった活動を行っている。令和4年度では、じゃがいもの栽培や収穫を行った。

(3) 宇土市役所としての今後の対策

遊休農地を解消するためのPR活動を行う

(4) 国としての遊休農地解消への対策

所有者の年齢層や遊休農地の筆数の統一化などを積極的に行っている。

国としての遊休農地に対する補助金は、多額ではあるが、申請に要件を書くことが必要になる。

4. 考察

結果をふまえて僕たちから市役所に対しての提案をいくつか考えてきたので紹介します。

1. カフェやレストランを建てる

→地元で取れた食材を使ってを使うことで地産地消を積極的に使うことができる

2. 別の農地にする

→農地を転用した場合、納める金額が増えてしまうため

3. 駐車場にする

→これから必要になってくると思うから

4. 資材置き場にする

5. 家を建てれるように土地を整える

→人口が増加して家が不足することがないようにするため

2の別の農地にするに関しては、スマホアプリを作成し、農地のレンタルサービスを行うことで改善がなされると思う。

5. 感想

使われていない農地のことを「遊休農地」と名称され、深く問題視されていることに驚いた。遊休農地を転用すると固定資産税が上がる可能性があったり農地転用をするにもお金がかかるので解決するにはまだ時間がかかりそうだったと思った。

6. 参考文献

市役所の遊休農地に関する資料